

こんにちは

会社訪問記

常に勉強を怠らず、仕事に取り組む
お客様とともに成長していきたい。

株式会社キリンカ

(愛知県知多市)

昭和53年に脱サラをして創業をしました、と語る切中社長。知多市に本社のある株式会社キリンカにおじゃまして、お話を伺いました。

——まず、事業内容を教えていただけませんか。切中社長(以下切中に略)『当社の主な業務は、事務用品、OA機器、組立ハウス、足場材などの総合レンタル事業です。産業廃棄物処理業務は3年前前にスタートしたばかりですね』

——産業廃棄物処理に携わるようになられたきっかけは何だったのでしょうか。

切中『この知多市には(株)INAXさんの工場と物流センターがあるのですが、そこが建設されたことが直接のきっかけですね。以後、お客様はINAXさんに限定して業務に取り組んでおります。また、東海市から知多市にかけてのこの地域一帯は名古屋南部臨海工業地帯として知られ、廃棄物の排出量も多いので、今後はますます勉強して他企業の産業廃棄物処理業務も行っていけるように体制を整えていきたいと考えています。』

——産業廃棄物処理業務にはどのような姿勢で臨まれていらっしゃいますか。

切中『産業廃棄物処理業務というのは、単にがむしゃらにやればいい結果が出るかということ、疑問ですよね。やはり、責任ある仕事ですから慎重に対応していかなければいけない。ある意味でお客様の事業活動のアンカーマン的位置に私たちはいると思います。ですから、業務に対してはよく勉強をして、お客様のご要望にお応えしていけるように心がけています。』



社内



社名/株式会社キリンカ 所在地/愛知県知多市朝倉町195
代表者/切中厚美 設立/昭和53年 従業員/45名(パート含)
TEL/0562(33)6000 モットー/山本五十六『男の修業』
事務所/本社 営業種別/収集運搬
取扱品目/汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、建設廃材

——このところよく不況、不況といろいろな場で話題になっていますが、これについてはどのようにお考えでしょうか。

切中『いろいろな考え方がありますが、一概にどうとは言えませんが、私はある間隔を置いて景気が悪化するということは人間づくりの面では良いことではないかと、常々考えています。だらけた気持ちが引き締り、逆に人間に活力が出てくるのではないかと。悪い時は悪い時なりにがんばる、そういう姿勢で仕事に取り組むことができるのも不況のお陰だと思っております。この時期をステップに活路を見い出して、産業廃棄物処理事業を成長させていきたいですね。』

——最後になりますが、『キリンカ』という社名の由来を教えてくださいませんか。

切中『中国の伝説上の動物に“麒麟”という1日に千里走るという駿馬の話があり、創業の年が午年だったこと、



切中社長

そして私の名前の切中をもじってつけたのがこのキリンカなのです。伝説の駿馬のように走り続けていきたいという願いを込めてもあるのです。山本五十六の“男の修業”をモットーにしていますとおっしゃる切中社長。温かな話し方が印象的でした。これからもがんばってください。